

# ネットワーク情報資源の組織化

整理技術研究グループ（堀池博巳、吉田暁史）

## 1. はじめに

膨大なネットワーク情報資源が出現した結果、個々の図書館で所蔵する資料の提供だけではすまされない時代になった。膨大なネットワーク情報資源の中から、各図書館に必要とされる良質の情報資源を選択して利用者に提供するサービスは、必須のものと考えられる。そのためにはネットワーク情報資源の組織化が必要である。ネットワーク情報資源組織化のためのプロセスを概観し、その問題点を検討する。

## 2. ネットワーク情報資源と発見ツール

### 2-1. ネットワーク情報資源の特徴

### 2-2. 情報発見ツールとしてのいろいろ

## 3. 図書館におけるネットワーク情報資源

### 3-1. ネットワーク情報資源の組織化・提供の必要性

#### (1) ネットワーク上の情報資源の探索

A. 商用、汎用検索サービスの利用

B. リンク集の利用

C. 非インターネットのツール利用

#### (2) 探索における問題点

### 3-2. ネットワーク情報資源と所蔵資料

ネットワーク情報資源と所蔵資料とは一体的に、発見・提供できることが必要。利用方法は基本的に所蔵資料とかわらない。拡大版である。

### 3-3. ネットワーク情報資源を扱う上での問題点

#### (1) 情報内容が玉石混淆

#### (2) 情報資源の数が膨大

#### (3) 種々の不安定性がある

#### (4) 「所蔵」しているわけではないゆえの問題点

#### (5) 利用に特別なツールを必要とする場合がある

#### (6) 著作権処理

#### (7) あらゆる階層の情報資源がある

#### (8) 文書情報以外にも、静止画、音声、動画、各種の情報タイプがある

### 3-4. 問題点への対応策

#### 4. サブジェクト・ゲートウェイ等における情報資源の選択、目録等の過程

ネットワーク情報資源を組織化し、高品質な情報検索支援を目的としたサブジェクト・ゲートウェイ(Subject Gateway)が構築されるようになった。

##### 4 - 1. サブジェクト・ゲートウェイとは<sup>1,2)</sup>

##### 4 - 2. ネットワーク情報資源の選択的収集<sup>3)</sup>

##### 4 - 3. メタデータ・データベースの構築<sup>4,5)</sup>

(1) 各種の仕様の検討

(2) メタデータの属性など

(3) メンテナンス問題

(4) 組織化された情報の提供サービス

#### 5. 情報資源組織化としてのメタデータ

##### 5 - 1. メタデータとは何か

##### 5 - 2. メタデータの種類

(1) 利用目的によって分ける方法<sup>6,7)</sup>

A. 管理的なもの(administrative)

B. 記述的なもの(descriptive)

C. 保存的なもの(preservation)

D. 技術的なもの(technical)

E. 利用的なもの(use)

図書館界で扱うメタデータは、このうちの主として記述的要素といえよう。これに対し、他の観点のデータは補足的に扱われる。

(2) データの複雑さ、構造化の程度によって分ける方法<sup>8,9)</sup>

	第1レベル	第2レベル	第3レベル
レコード	単純フォーマット	構造化フォーマット	高度なフォーマット
特性	独自	新興標準	国際標準
	フルテキスト索引	フィールド構造	精緻なタグ付け
使用例	Lycos	Dublin Core	CIMI
	Altavista	IAFA templates	EAD
	Yahoo	RFC 1807	TEI
		SOIF	MARC

##### 5 - 3. 実施例に見るメタデータ

Dublin Core の使用が多いが、MARC フォーマットが使用されることもある。

##### 5 - 4. 図書館界において対象とする主たる情報資源と、それにふさわしいメタデータ

(1) 基本的には、DLO(Document Like Object)文書的情報資源が中心。

- ( 2 ) 従来の目録規則では何が困るのか
- ( 3 ) なぜ Dublin Core が用いられるのか
- ( 4 ) 今後どうあるべきか
- 5 - 5 . 他のコミュニティとの連携を行うためのメタデータの条件

( 1 ) 各コミュニティにおけるメタデータの相違	
コミュニティ	主として用いられるメタデータ
図書館	MARC
文書館	EAD
博物館・美術館	CIMI

- ( 2 ) コミュニティ内部および相互流通のためのメタデータ
- |          |                  |
|----------|------------------|
| コミュニティ内部 | 詳細な第 3 レベルのメタデータ |
| コミュニティ間  | 簡略な第 2 レベルのメタデータ |

- 5 - 6 . 目録対象の階層把握と記述対象
- ネットワーク情報資源の目録対象となる階層レベル
- 論理的階層把握と物理的階層把握

## 6 . まとめ

- 6 - 1 . 情報資源の選択
- 6 - 2 . 所蔵資料とネットワーク情報資源の一体的な検索・提供
- 6 - 3 . 協同目録の必要性和サブジェクトゲートウェイの整備
- 6 - 4 . メタデータに求められる要件

## 引用文献

- 1) Renardus における定義  
[http://www.renardus.org/about\\_us/subject\\_gateways.html](http://www.renardus.org/about_us/subject_gateways.html) ( 2003.1.26 確認 )
- 2) Traugott Koch. Quality-controlled subject gateways : definitions, typologies, empirical overview  
<http://www.lub.lu.se/~traugott/OIR-SBIG.txt> ( 2003.1.26 確認 )
- 3) 尾城孝一 . サブジェクト・ゲートウェイの構築と運営 - 理工学分野の高品質なインターネットリソースの提供をめざして - 『情報の科学と技術』 50 巻 5 号(2000) p.280-289.
- 4) DESIRE Information Gateways Handbook  
<http://www.desire.org/handbook/> ( 2003.1.26 確認 )
- 5) 梶谷泰文 . ゲートウェイ・サービスのためのメタデータ『現代の図書館』 38 巻 1 号(2000) p.54-62.
- 6) Anne J. Gilliland-Swetland. Setting the Stage. In: Introduction to Metadata : pathways to digital information / ed.by Murtha Baca.

<http://www.getty.edu/research/institute/standards/intrometadata/> ( 200.3.1.26 確認 )

- 7) Anne J. Gilliland-Swetland. Setting the stage. In: Introduction to Metadata : pathways to digital information / ed.by Murtha Baca. -- Getty Information Institute, c1998, p.1-8.
- 8) Lorcan Dempsey and Rachel Heery et al. Specification of Resource Description Methods. Pt.1: A Review of Metadata : a survey of current resource description formats. 1997.

<http://www.ukoln.ac.uk/metadata/desire/overview/> ( 2003.1.26 確認 )

- 9) Rachel Heery. Metadata : a current view of practice and issues. The Journal of Documentation. Vol.54, no.2, 1998.03, p.145-172